

## ニボルマブ(オプジーボ)+カボメティクス療法(4週毎)

患者番号:                                  氏名:                                  性別:                                  年齢:

がん種 (適応)	腎細胞癌					
開始年月日	年	月	日			
1 コース期間	28 日間					
体格	身長	cm	体重	kg	体表面積	m <sup>2</sup>
嘔気・嘔吐リスク	最小度	制吐剤	なし			
特記事項						

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール
オプジーボ	480mg (mg/body)	30分	Day1
カボメティクス	1回 40mg 1日1回	経口	連日服用

### 【処方が必要な内服薬】

カボメティクス錠 (20) 2錠 1×空腹時  
(食事の1時間前から食後2時間までの間の服用は避ける)

- HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介
- HBs 抗原(-) → HBs 抗体(-)and HBc 抗体(-) → HBV-DNA 定量(-) → 3ヵ月毎 定量
- HBs 抗体(+)-and/or HBc 抗体(+)
- HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン \_\_\_\_\_

免疫チェックポイント阻害薬 副作用対応連携シート

副作用	主な自覚症状	検査項目	ヘーヌサイン (投与開始時)		モニタリングの目安	専門医へのコンサルトのタイミング
			〇実施	投与時		
間質性肺炎	発熱、空咳、息苦しい、息切れ	胸部X線	〇	投与時	左記の自覚症状発現の場合、左記検査項目の異常が認められた場合には、直ちに相談ください。	
		胸部CT	〇	疑い時		
		KL-6 SP-D	〇	2か月毎に2回		
内分泌障害	副甲状腺機能低下症：身体がだるい、体重増加、徐脈、便秘、食欲低下など 甲状腺機能亢進症：汗をかきやすい、体重が減る、甲状腺のはれ、胸がドキドキする、手の震え、不眠、発熱、下痢、振戦、食欲低下 副腎機能不全：身体がだるい、意識がもうれる、考えがまとまらない、嘔吐、むくみかす、食欲不振、低血圧、脱力感 副甲状腺機能低下症：手足の筋肉の痙攣、手足口の周りがどろどろ	TSH・FT3・FT4	〇	月1回	【甲状腺】 症状出現（倦怠感や動悸など）、TSH・FT3・FT4に異常が認められた際、TSHレベルが抗体、抗チロトロピン抗体、抗TPO抗体を1回測定し、自己抗体陽性で症状発現時はコンサルト 【副腎】 ACTH・コルチゾールを測定した際、コルチゾール低値の場合コンサルト	
		抗チロトロピン抗体 抗TPO抗体 TSHレセプター抗体 IPTH	〇	疑い時		
		ACTH コルチゾール	〇	月1回		
		排便回数	〇	投与時		
		腹部CT 大腸内視鏡検査	-	疑い時		
		CPK	〇	投与時		
大腸炎 重症の下痢	下痢（軟便）もしくは通常よりも頻回の便通、血便もしくは黒クタル便で粘着質の便、重症の腹部痛もしくは肛門痛	排便回数 腹部CT 大腸内視鏡検査	〇	疑い時	Grade2以上の下痢、便回数の増加が認められた場合（ヘーヌサイン比4～6回/日以上の排便回数増加） 腹痛・下血・便失禁・発熱に特に注意	
重症筋無力症 筋炎	重症筋無力症：上まぶたが下がる、物がぼけて見える、飲み込みにくい、しゃべりにくい、呼吸困難 筋炎：身体に力が入らない、発熱、飲み込みにくい、息苦しい、発疹、筋肉の痛み	AChR抗体	-	疑い時	目下下がってくる（眼瞼下垂） 飲み込みにくい（嚥下障害） 症状発現時 あるいは、CPK1000IU/L以上の場合コンサルト	
1型糖尿病	糖尿病：身体がだるい、体重減少、のどの渇き、水を多く飲む、尿の量が増える 糖尿病性酮アシドーシス：意識の低下、悪心、嘔吐、腹痛	HbA1c グリコアルブミン 血糖 検尿（尿ケトン体） Cペプチド	〇 〇 〇 -	月1回 疑い時 投与時 疑い時	血糖値が、急激に上昇した場合コンサルト	
皮膚障害	湿疹、かゆみ	AST ALT γ-GTP ALP T-Bil D-Bil LDH HB抗体・HBc抗体 HCV抗体 PT APTT フィブリノーゲン 心筋トロポニンT NTproBNP Dダイマー FDP 心エコー 心電図	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	投与時 投与時 感染歴がある方は3か月毎にDNA量を測定	Grade2以上の皮膚障害	
肝障害	倦怠感、黄疸、嘔吐・嘔気、食欲不振、そう痒感	AST ALT γ-GTP ALP T-Bil D-Bil LDH HB抗体・HBc抗体 HCV抗体 PT APTT フィブリノーゲン 心筋トロポニンT NTproBNP Dダイマー FDP 心エコー 心電図	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	投与時 投与時 感染歴がある方は3か月毎にDNA量を測定	左記の自覚症状の発現、又はGrade2以上の肝機能障害が認められた場合コンサルト	
心血管障害	心不全、心筋炎、心房細動、深部静脈血栓	PT APTT フィブリノーゲン 心筋トロポニンT NTproBNP Dダイマー FDP 心エコー 心電図	〇 〇 〇 〇 〇	疑い時	左記の自覚症状の発現、又は検査値の異常時コンサルト	
眼障害	充血、霧視、羞明、眼痛	Na K Cl Ca P TP ALB UA AMY BUN Cr 血球算定 (CBC) バイカルサイン	〇 〇 〇 〇	投与時 投与時	左記の自覚症状が発現した場合コンサルト	
その他		Na K Cl Ca P TP ALB UA AMY BUN Cr 血球算定 (CBC) バイカルサイン	〇 〇 〇 〇	投与時		

※検査オーダーは検査キット、統合レポートを作成していますので、こちらより使用して下さい

死亡例が報告されています。早めに専門医へのコンサルトをお願いします